

犬を書いて飲む

朝鮮半島

ある男の人が、

「どうもおなかの中がすっきりしないなあ」といいました。するともうひとりの人が、

「それはおなかの中によくないものがある溜<sup>た</sup>まっているからだよ。犬を書いて飲めば、その犬がよくないものを食べてくれるよ」といいました。

「じゃあ、その犬はどうやっておなかの中から出せばいいんだ」

「それは、とらを書いて飲めばいい。とらが犬を追いだしてくれるから」

「じゃあ、そのとらはどうするんだ」

「鉄砲<sup>てつぱう</sup>撃ちを書いて飲めば出てくるよ」

「じゃあ、鉄砲撃ちはどうするんだ」

「警察官<sup>けいさつかん</sup>を書いて飲めば逃げだすさ」

「じゃあ、警察官はどうすればいいんだ」

「知事の呼び出し命令書<sup>めいれいしょ</sup>を書いて飲めば大急ぎで出てくるよ」

「その命令書はどうするんだ」

「それは紙だから、うんこになって出てくるよ」

おしまい



原話 『朝鮮民潭集』孫晋泰 勉誠出版刊

再話 村上郁